

## 再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課  
 担当課長名：服部 卓也

事業名：連続立体交差事業 南海電気鉄道南海本線 （諏訪ノ森駅～浜寺公園駅付近）	事業区分：連続立体交差	事業主体：堺市			
起終点：自：大阪府堺市西区浜寺石津町中 至：大阪府堺市西区浜寺公園町		延長：2.7km			
事業概要 本事業は、交差する幹線道路上の踏切を除却することで、安全で円滑な都市交通の確保、及び分断された東西地域の一体化による地域の活性化を図ることを目的とする。					
H18年度事業化	H17年度都市計画決定	H19年度用地着手	H24年度工事着手		
全体事業費	約423億円	事業進捗率	約47%	供用済延長	— km
計画交通量	80,180台/日（踏切交通遮断量）				
費用対効果	B/C （事業全体） 1.2 （残事業） 2.6	総費用 （残事業）/（事業全体） 212/444億円 事業費：211/443億円 維持管理費：1.4/1.4億円	総便益 （残事業）/（事業全体） 552/552億円 走行時間短縮便益：525/525億円 走行経費減少便益：23/23億円 交通事故減少便益：3.5/3.5億円	基準年 令和3年	
感度分析の結果 （事業全体）交通量：B/C=1.1～1.4（交通量±10%） 事業費：B/C=1.2～1.3（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.2～1.3（事業期間±20%） （残事業）交通量：B/C=2.3～2.9（交通量±10%） 事業費：B/C=2.4～2.9（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.5～2.7（事業期間±20%）					
事業の効果等 ○踏切渋滞の解消 ・踏切渋滞の解消による周辺道路の交通の円滑化 ○安全で快適な歩行環境の確保 ・踏切による歩行者・自転車利用者の損失時間解消 ・歩行者や自転車と自動車交通の分離による安全な通行環境の確保 ・新駅のバリアフリー化による移動快適性の向上 ○防災性の向上 ・事業区間周辺は津波による浸水想定区域であり、踏切の除却により災害時における安全かつ迅速な避難に貢献 ○景観に配慮した空間形成 ・文化財的価値の高い駅舎を保存・活用し、まちの顔としての機能を保持することにより、駅を中心とした活気あるまちづくりに寄与 ○高架下空間の活用 ・商業施設の誘致により、人々が集う活気と賑わいある空間を創出 ・駐輪場、駐車場等の整備により、駅周辺の安全かつ円滑な交通を確保					
関係する地方公共団体等の意見 早期実現の要望を受けている。					
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約99%、事業進捗率約47%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引続き事業を推進し、早期の高架化を目指す。					

施設の構造や工法の変更等

今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。

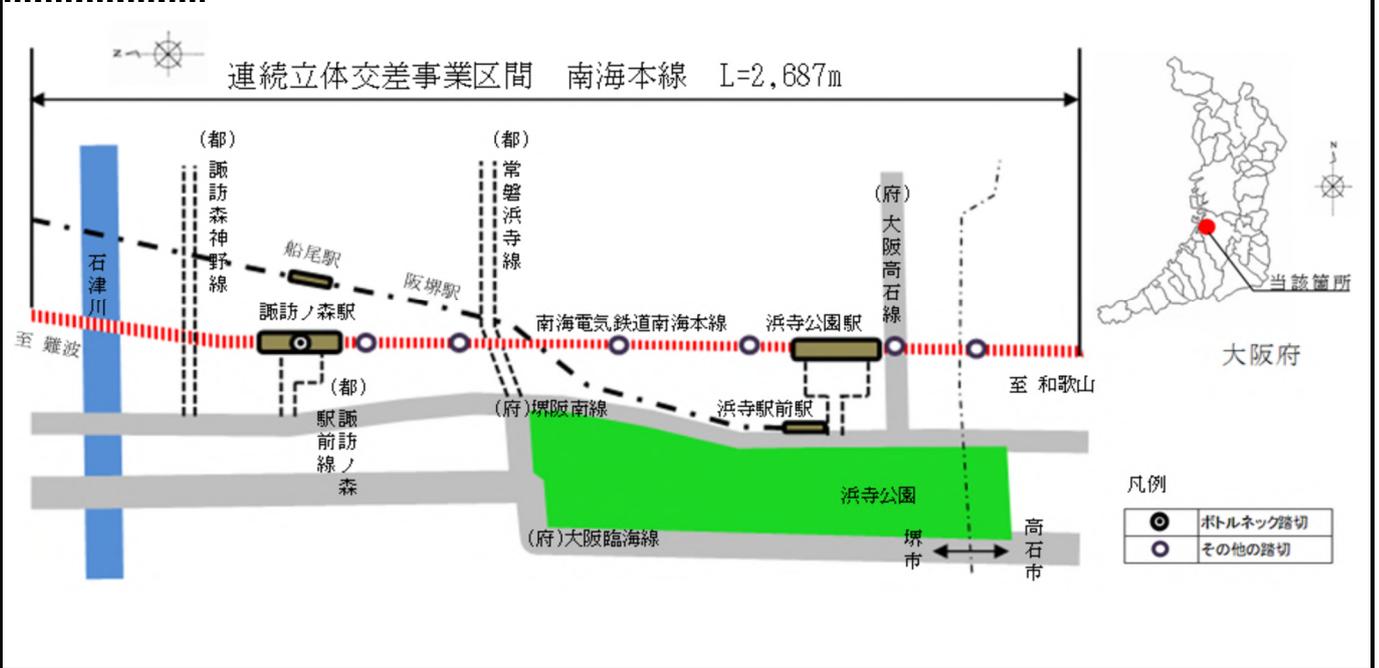
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。